

紙ふうせん

KAMIFUSEN NO.46

成田市立図書館だより 第46号 2000年(平成12年)7月25日発行

編集 成田市立図書館 〒286-0017 成田市赤坂1-1-3 ☎ 0476-27-4646
FAX 0476-27-4641

今年子ども読書年



2000年 子ども読書年

「子ども読書年」は、子どもと、子どもに関わるすべての人やグループを対象に、本とふれあうことによる喜びを体験してもらうための活動です。

1. 制定の契機

2000年5月5日、アジアで初めて、子どもの本についての総合的な図書館「国際子ども図書館」が、東京・上野に開館しました。これを記念して、2000年を「子ども読書年」と制定しました。ただし、「子ども読書年」の目的は、この一年だけで終わるのではなく、すべての子どもが豊かでありつづけるため、さらに受け継がれ発展されていかなければならないとしています。



2. 目標

- ①本とふれあうことによる喜びを体験してもらう。
- ②読書活動を通じて、親子、家族、友だち同士などで語り合う場を設けてもらう。
- ③本の価値、読書の大切さを再認識してもらう。
- ④子どもの誰もが読書をゆっくり楽しめる環境を整える。
- ⑤本を通じて、21世紀のこころ豊かな日本社会の創造に寄与する。

図書館でも、子ども読書年にあわせて、各種行事を予定しています。

2階展示コーナー



レオ・レオニの世界

レオ・レオニは、1910年アムステルダム生まれの絵本作家、グラフィックデザイナーです。1959年『あおくんときいろちゃん』で作家としてデビューしました。シンプルで印象深い絵、『スイミー』や『フレデリック』をはじめとする自己探求と仲間との調和をテーマとしたストーリーで数多くの優れた作品を描き、幅広い層に人気があります。1999年10月、89歳で亡くなりましたが、これからも多くの作品は読み継がれていくことでしょう。

おはなし会

おはなしを楽しむ

藤田 浩子氏

5月20日（土）、藤田浩子氏をお招きして、おはなし会を開きました。当日は、曇天で時々小雨が降りましたが、大勢の子ども達と、おはなしに興味のある大人の方（子ども達に負けないくらいたくさん）にもお集まりいただきました。手遊びや人形を使ったおはなしと昔話など、いくつもいくつものでてくる楽しいおはなしに時のたつのも忘れるほどでした。



藤田氏は、1937年東京生まれ。福島県三春町に疎開しているとき、隣の畑のおじさんから昔話を聞いて育ったそうです。その後幼児教育に携わり、おはなしを語るようになりました。現在もあちらこちらの幼稚園・小学校・大学・図書館などでおはなしをしていらっしゃいます。子どもの頃聞いた昔話やおはなしを語ってくれた人達との出会いが、楽しいしあわせな思い出として残っていたから現在も語り続けていらっしゃるのではないのでしょうか。当日最後のおはなしは、「蛙ぼたもち」でした。子ども達は、おはなしにちなんだ牛乳パックで作ったカエルをおみやげにもらって、うれしそうでした。

出版物



かたれやまんば1～3 藤田浩子の語りを聞く会
おはなしおばさんの小道具 一声社
続おはなしおばさんの小道具 一声社
フランと浩子のおはなしの本 1～2 一声社
しったかぶり 大鳳社
遠藤登志子の語りー福島の民話ー（吉沢和夫共編） 一声社

◆主な作品（訳者はすべて谷川 俊太郎）

じぶんだけのいろ
ペツエッティーノ
せかいいちおおきなうち
アレクサンダとぜんまいねずみ
うさぎたちのにわ
みどりのしっぽのねずみ
あいうえおのき
スイミー
ひとあし ひとあし
さかなはさかな
うさぎをつくろう
いずれも 好学社

あおくんときいろちゃん 至光社
ニコラスどこへいったの
6わのからす
ティリーとかべ
いずれも 佑学社
シオドアとものいうきのこ
はまべにはいしがいっぱい
いずれも ペンギン社
など



「うさぎをつくろう」より

平成12年度図書館講座のご案内

1 児童講座 科学あそび

毎年ご好評をいただいている、夏休み子ども向け講座です。

実験をとおして科学のなぞにせまります。

今年は、2回おこないます。

1回目 8月1日(火) 10:00～12:00

『ぼくもわたしも雷様一圧電素子であそぼう』

2回目 8月24日(木) 10:00～12:00

『音であそぼうーエコーのかかるバネ電話づくり』

講師 坂口 美佳子氏(科学読物研究会)

対象 小学校2年生以上

定員 50名(申し込み制)

場所 成田市立図書館 2階集会室

くわしいお問い合わせは、成田市立図書館まで

電話 27-4646



昨年の科学あそびのようす

2 文学講座

今年の文学講座は、12月に児童文学作家として活躍中の角野栄子先生をお招きして開催します。角野栄子先生の代表作である『小さなおぼけ』シリーズは、1979年のスタート以来、多くのこどもに愛され、380万部をこえる大ベストセラーとなっています。もちろん図書館でも大人気の作品です。その他にも『アイとサムノ街』や『魔女の宅急便』など図書館でもおなじみの人気作品があります。また、ディック・ブルーナ作品などの翻訳を手がけるなど幅広く活躍されています。中でも『魔女の宅急便』は宮崎駿監督によってアニメ映画化され、大ヒットしました。ちょっと童心にかえて、角野先生の不思議な世界にふれてみてはいかがでしょうかでしょう。



角野栄子先生の作品

編集後記

今年は楽しいイベントが盛りだくさんです。どうぞ楽しみにしててくださいね。さて、今年度から「子どもセンター通信(成田市子どもセンター協議会発行)」に『いいほんみつけた』と題して子どもの本の紹介をすることになりました。こちらもご愛読ください。いつの日も変わらない図書館の仕事…それは、あなたと本を結びつけることです。今までも、そしてこれからも、あなたと本との出会いを図書館はお手伝いします。

成田市立図書館だより	
発行	成田市
編集	成田市立図書館
	〒286-0017 成田市赤坂1-1-3
	☎0476-27-4646
発行日	2000.7.25
登録番号	成教図148